

6 温泉利用施設立入検査

【水質環境科】

県下の温泉の実態を把握し、資源の枯渇、衰退を防止して資源の適性利用を図るため、平成7年11月から8年3月に210源泉（井戸水を含む）の立入検査を行い、そのうち200利用施設について

温度、湧出量、電気伝導度、 Cl^- 、硬度などを測定した。その調査結果は次のとおりである。なお残りの10源泉については静水位などを測定した。

温泉調査結果表

温泉地名	温度別利用源泉数			平均温度(°C)	湧出量(ℓ/分)	電気伝導度($\mu\text{S}/\text{cm}$)	Cl^- (mg/ℓ)	硬度(mg/ℓ)	主な泉質
	<25°C	25~42°C	42°C≤						
岩井	0	1	3	45.6	590	1,673	145.7	573	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩泉
鳥取	0	2	14	45.9	715	4,494	842.9	334	ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
吉岡	0	1	3	49.3	898	598	78.8	42	単純泉
浜村	0	4	13	55.5	946	1,465	287.8	198	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
鹿野	0	0	7	60.8	1,019	1,017	284.0	49	単純泉
羽合	0	1	4	53.6	1,448	1,948	594.8	266	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
東郷	0	4	16	75.0	1,712	2,047	593.6	235	ナトリウム・カルシウム-塩化物・硫酸塩泉
三朝	0	22	55	51.0	2,163	1,224	306.4	72	単純放射能泉
関金	1	9	8	42.4	328	597	88.2	34	単純放射能泉
皆生	0	2	16	65.6	4,456	11,993	5,368.4	3,888	ナトリウム・カルシウム-塩化物泉
その他	2	12	0	31.3	3,340	2,998	1,243.0	671	
計	3	58	139	54.6	16,892				

- (注) 1 泉温、電気伝導度、 Cl^- 、硬度は平均値。(総量を全湧出量で割ったもの)
 2 電気伝導度は20°Cにおける測定値。
 3 硬度は CaCO_3 に換算したもの。